

ヘスティアは こんな活動をしています

ヘスティアは、本部を中心として講座部・広報部・家庭訪問部で構成されています。保健福祉センター内に設置された家庭教育支援室を拠点に、本年度は33人の地域住民がヘスティアとして活躍中です。

講座部



手づくりや語り合い、読み聞かせなどの参加型講座を通じて、子育てに関わる人が交流し、情報交換やリフレッシュをするための機会を作っています。

4～5カ月児健診の場で絵本の読み聞かせを行い、好きな絵本をプレゼントするブックスタートも実施しています。

広報部

園や学校、公共施設などを通じて家庭教育情報誌「げんきっこfamily」を年間4回配布し、子育てに役立つ情報や絵本紹介、親子で参加できる市内のイベント情報などを提供しています。

また、チーム員が考えた朝食レシピ集「かんたん朝ごはん」も発行しています。



家庭訪問部



子育ての悩みを抱える家庭に対して個別に相談対応を行っています。

「子どもが言うことを聞いてくれず心配」「私の子育てこれでいいのかな」「イライラしてしまう」など、一人ひとりのさまざまな悩みを耳を傾け、しっかりと寄り添っています。



かがやく笑顔をもとめて



手づくり講座「てぶくろ人形をつくろう!」の様子

子育て中は私自身も少しのことで心配したり、悩んだりしていました。そんなとき誰かに話して「そうそう私もよ、一緒やね。」と言葉をかけたもらい、ほっとすることができました。悩んでいたのは自分だけじゃないんだと気づくことで、安心して前向きになれたと思います。子どもを取り巻く周りの人たちの笑顔が、子どもの笑顔へとつながります。ヘスティアは、子育ての悩みを保護者がひとりで抱えこまないように、小さなことでも話せるような寄り添って応援できる存在になりたいと思っています。

私たちの活動は、地域のつながりを作るための「種まき」だと思っています。私たちの講座に参加してもらうことでまかれた地域のつながりの種が、あちらこちらで芽を出し、地域のみんなが笑顔の子育てを応援する、そんなあなたかな優しい思いの花がいつぱい咲くまをを目指して頑張っています。



ヘスティア本部長
森田知世子さん

地域につながるの花を咲かせたい
ヘスティア本部長に
インタビュー



●お問い合わせ
家庭教育支援室
☎33-12129



楽しい子育てのために
ヘスティアでは、これからも子育てに関わる皆さんの思いに寄り添う活動を続けていきます。

市ホームページではヘスティアに関する詳しい情報を掲載しています。「誰かに話を聞いてほしい」「少しリフレッシュする時間が欲しい」と感じたときは、いつでもお気軽に個別相談や講座に参加してみてください。市内在住の人であれば、子どもの年齢に関わらずどなたでも申し込んでいただけますので、ぜひ下の二次元コードからご覧ください。



子育ては人生初体験の連続です。誰もが悩んだり迷ったりする中、孤立することなく笑顔で子育てを楽しんでもらうため、市では、平成20年度から地域と行政が共に子育ての支援を行う体制作りについて、橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」とともに取り組んでいます。

ヘスティアとは
「ヘスティア」は、家庭教育支援チームを英語で表したときの頭文字と、ギリシャ神話のかまどの女神の名前に由来しています。

ヘスティアでは、すべての子どもが自立した大人に成長できるように、また、保護者が子育ての不安や悩みを抱えたまま孤立することがないように、地域や学校、行政と連携しながら、笑顔の子育てを応援する活動を行っています。

子育て支援を通してヘスティアとつながる家庭を増やすことで、地域の中に子育て支援の輪を広げていくことを目指しています。

笑顔の子育て応援します”
合言葉は

「家庭教育支援室」

ヘスティアの活動内容
学校や園、公民館などと連携した各種講座・個別相談の実施や、保護者同士、保護者と学校とのつながりや情報交換を目的としたワークショップを就学時健康診断に合わせ実施しています。

これ以外にも、本年度からは保健福祉センターでのパネル展示やクリスマス飾りの手づくり体験講座、転入世帯に向けた情報提供など、新たな取り組みも始めています。

先進事例として表彰されました
ヘスティアは家庭教育支援の先進事例として全国的にも高く評価されています。

平成26年度には内閣府が実施する「子どもと家族・若者応援団表彰」において、内閣府特命担当大臣表彰（子育て・家庭支援部門）を受賞し、今年2月には「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰も受賞しました。